

# いおくニュース

IOKU NEWS

Vol. 90

2018年6月号 | June, 2018



## NEWS

### 春

と秋に発生する奈良の  
駐車場不足と交通渋滞。

パーキングが満車でも本当に車を止めるところはないのか？  
あります！例えば、定休日や営業車が出た後の会社の駐車場。そして、個人所有の駐車場も車が出た後は空いています。けれど、「半日、駐車させてください」との交渉は、とても大変で面倒です。

さて、最近私達は、スマホで楽天やじゃらん等を使いホテルを取ります。日にちと最寄りの駅などを選び、すぐに空いているホテルが一覧で出

ICTを使った新しい課題解決  
シェアリング・エコノミーで喜びもシェア

てきて、その中から選択し、5分もあれば予約完了です。同じようにスマホを使い、一時的にでも、駐車場を貸しても良いと考えている人の一覧が出てきて、**選択・決済**ができれば、楽で便利、排気ガスも減る、さらに使っていない空間を貸し出すということ**は「おカネになる」ということ**です。

子育てに活用で三方良し  
ICT関連技術の進歩によって、空間やスキル、知識

### 猪奥美里(いおくみさと)プロフィール

1980年奈良市秋篠町生まれ

平城小学校・平城中学校／ジーク高校(ドイツ)／奈良大学附属高等学校／

立命館大学・立命館大学大学院(環境経済学専攻)／衆議院議員秘書

2011年奈良県議会議員初当選 2015年4月2期目当選

◆ 経済労働委員会委員 防災・県土強靱化対策特別委員会副委員長



## データでみる！奈良県政



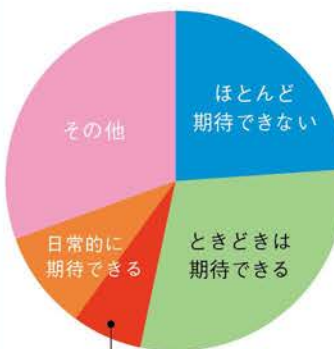
Illustration / nogami moyuko

今月のテーマ

### 子育て、誰に頼る？

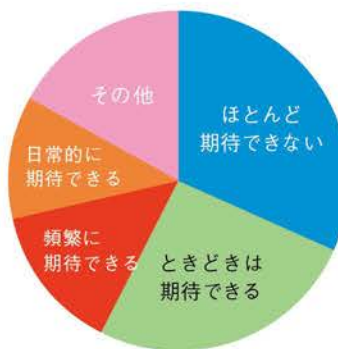
頼りになるのはやっぱり両親。本当にそうでしょうか？  
県の調査では、こんな実態が浮き彫りになりました。

夫婦の両親から子育ての手伝いは期待できますか？



頻繁に期待できる

3歳になるまでの間、それぞれの両親から手助けはありましたか？



(データは第一子)

意外にも、両親から頻繁に・日常的に手助けを期待できると答えたのは、出産前で16%、出産後でも25%ほど。近くに住んでない方も多く、また晩婚化が進み親の年齢も高齢化している等の背景もあります。だからこそ、地域のサポーターを見つけられる仕組みが必要だと考えます。



### 連絡先

〒631-0817 奈良市西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号  
TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094 MAIL info@ioku.jp

### ポスティングのお願い

このいおくニュースは、いおくや事務所スタッフ、そしてボランティアの皆さんで手配りをしています。少力で結構ですので、お手伝いいただける方は、ご連絡ください。

# 今月のいおく



① ツツジの名所、山添村神野山。からす天狗「てんまる」とこの日デビューの「こてんまる」



② 全国の仲間の若手議員と金沢市のシェアサイクルと道路政策等を学びに



③ 2年前立ち上げた、女性都道府県議会議員の会。政党や県を超え、学び活動しています

1日 (火)	支持者訪問
2日 (水)	天平祭行列準備
3日 (木)	天平祭、神野山つつじ祭 ①
4日 (金)	休み
5日 (土)	学園大和町春祭り
6日 (日)	日本バーテンダー協会奈良県本部通常総会、 憲法を生かす奈良県学習決起集会
7日 (月)	国民民主党結党大会、 地方自治体議員フォーラム総会・研修会@東京
8日 (火)	地方自治体議員フォーラム研修会
9日 (水)	支持者面談
10日 (木)	全国青年政策ネットワーク会議視察@金沢 ②
11日 (金)	全国青年政策ネットワーク会議視察@金沢
12日 (土)	民進党奈良県総支部連合会役員会・幹事会
13日 (日)	支持者訪問
14日 (月)	経済労働委員会県内調査／奈良県食肉センター
15日 (火)	支持者面談／5月号いおくニュース執筆
16日 (水)	平城地区自治連合会新旧歓送迎会
17日 (木)	支持者面談
18日 (金)	議会運営委員会
19日 (土)	まほろば会定期総会・講演会
20日 (日)	立命館大学奈良県北部校友会総会・懇親会
21日 (月)	支持者訪問
22日 (火)	支持者訪問
23日 (水)	奈良骨髄バンク三者会議
24日 (木)	支持者訪問
25日 (金)	奈良県土地家屋調査士政治連盟懇談会
26日 (土)	ホームホスピスみぎわ訪問、 連合奈良推薦議員懇談会
27日 (日)	五条西山中央自治会清掃活動
28日 (月)	支持者訪問
29日 (火)	女性都道府県議会議員の会研修会@東京都議会 ③
30日 (水)	連合奈良「高度プロフェッショナル制度の 衆議院通過に抗議する」街宣行動
31日 (木)	打ち合わせ・事務所会議



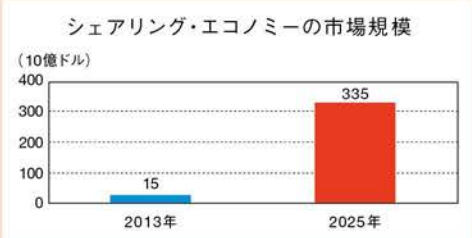
などの目に見えない情報をリアルタイムで共有できるようになりました。  
シェアされるスキルも特別なものだけではありません。例えば、子育て経験者による子育てのスキルもそうです。地域の方が子育てを助ける「ファミリー・サポート」の制度や保育所・病児保育の拡充も、進められているものま

だまだ十分ではありません。子どもが急に熱を出した時などは、お母さんが職場に無理を言い休むということも多いのではないのでしょうか？  
お母さんが「助けてほしい」と思った時に、すぐに地域でお願いをできる人を見つけることができれば、もっと子育てしやすく、働きやすくなる。サポートする側も出番ができて、やりがいや張り合いが生まれる。そうして地域で人の関わりあいが増え、より暮らしやすい街になるはずですよ。  
民間と行政の連携の在り方も探りながら、うまく制度を整理し、個人の力が生かした課題解決ができるよう、進めてまいります。

PICK UP

## シェアリング・エコノミーとは？

空間、乗り物、スキルなどをインターネット上でマッチングさせ、貸し借りや売買を行うこと。アメリカでUber（ウーバー）やAirbnb（エアビーアンドビー）などから始まり、日本では2012年ごろから盛んに。これにより消費者利益の増加、就業機会の創出、経済の活性化、環境負荷の低減等が期待されている。



このように大きく拡大することが予想されています。